

予算委員会

委員一覧 (45名)

| | | | | | | |
|-----|----|----------|----|----------|----|----------|
| 委員長 | 末松 | 信介 (自民) | 片山 | さつき (自民) | 辻元 | 清美 (立憲) |
| 理事 | 足立 | 敏之 (自民) | 小林 | 一大 (自民) | 福島 | みずほ (立憲) |
| 理事 | 石田 | 昌宏 (自民) | 佐藤 | 正久 (自民) | 水野 | 素子 (立憲) |
| 理事 | 中西 | 祐介 (自民) | 田中 | 昌史 (自民) | 秋野 | 公造 (公明) |
| 理事 | 宮崎 | 雅夫 (自民) | 中田 | 宏 (自民) | 伊藤 | 孝江 (公明) |
| 理事 | 吉川 | ゆうみ (自民) | 長峯 | 誠 (自民) | 宮崎 | 勝 (公明) |
| 理事 | 石橋 | 通宏 (立憲) | 広瀬 | めぐみ (自民) | 横山 | 信一 (公明) |
| 理事 | 杉尾 | 秀哉 (立憲) | 松川 | るい (自民) | 東 | 徹 (維新) |
| 理事 | 河野 | 義博 (公明) | 松下 | 新平 (自民) | 清水 | 貴之 (維新) |
| 理事 | 金子 | 道仁 (維新) | 山田 | 俊男 (自民) | 松野 | 明美 (維新) |
| | 阿達 | 雅志 (自民) | 山田 | 宏 (自民) | 伊藤 | 孝恵 (民主) |
| | 有村 | 治子 (自民) | 若林 | 洋平 (自民) | 舟山 | 康江 (民主) |
| | 猪口 | 邦子 (自民) | 石垣 | のりこ (立憲) | 田村 | 智子 (共産) |
| | 臼井 | 正一 (自民) | 小沼 | 巧 (立憲) | 山添 | 拓 (共産) |
| | 加藤 | 明良 (自民) | 高木 | 真理 (立憲) | 山本 | 太郎 (れ新) |

(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第212回国会において、本委員会に付託された案件は、令和五年度補正予算2案であり、いずれも可決した。また、予算の執行状況に関する調査を行った。

なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

令和五年度補正予算2案(第1号及び特第1号)は、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」(令和5年11月2日閣議決定)を実施するために必要な経費の追加等を行う一方、租税及印紙収入等の増収を見込むとともに、前年度剰余金の受入や公債金の増額を行うものである。補正予算2案は、11月20日国会に提出され、11月29日に成立した。

委員会では、11月20日に財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付の後、27日から質疑に入り、29日には締めくくり質疑を行い、質疑終局の後、れいわ新選組から、補正予算2案に対して、10万円一律給付金等を内容とする修正の動議が提出された。修正案は予算総額の増額であるため、国会法第57条の3の規定に基づき内閣から意見を聴取したところ、政府としては反対である旨の意見が述べられた。続いて、原案及び修正案に対して討論を行い、採決の結果、修正案は否決、原案は可決された。

委員会の質疑においては、現下の社会経済情勢を踏まえた政策対応の在り方、定額減税及び給付金による地方自治体の事務負担への対応、少子化対策に係る財源の在り方、賃上げに資する診療報酬改定等の重要性、今後の農業政策の方向性、防衛力整備計画に係る費

用の見直し、予備費や基金等の予算計上の在り方、トリガー条項凍結解除の必要性、交際費課税制度見直しの必要性、中小企業の価格転嫁に向けた取組、ライドシェア導入の見直しと課題、大阪・関西万博に要する経費の見直し、イスラエル・パレスチナ情勢に係る政府の外交方針、政治資金収支報告書不記載への対応等の問題が取り上げられた。

〔国政調査〕

予算の執行状況に関する調査を議題として、以下のとおり、委員会が開かれた。

まず、岸田内閣総理大臣の所信表明演説に対する本会議での各党代表質問の後、**10月31日、11月1日**の2日間、質疑が行われた。

質疑においては、少子化対策及び防衛力整備計画の財源に充てる歳出改革の具体策、イスラエル・パレスチナ情勢に対する我が国外交の在り方、従来の健康保険証廃止に係る決定過程の是非、地方創生及び食料安全保障における農業支援の重要性、年収の壁・支援強化パッケージの利用促進に向けた取組、参議院議員通常選挙における合区制度の弊害、需要と供給両面に目配りした経済対策の重要性、所得税減税に係る所得制限への総理の認識及び地方財政への配慮の必要性、不登校対策の充実及びヤングケアラーへの支援強化、現役世代の社会保険料負担軽減の必要性、開発力向上に向けた製薬企業の再編・統合の必要性、年少扶養控除の復活及び公的給付の所得制限撤廃を含む少子化対策の充実、男女間賃金格差の解消といわゆるギグワーカー保護の必要性、消費税減税の必要性等の問題が取り上げられた。

また**12月8日**、内外の諸課題に関する集中審議が行われた。質疑においては、オスプレイ墜落事故に関する情報提供や再発防止等を米国に求める必要性、閣僚の政治資金収支報告書に係る事実関係、国民負担増に係る総理の説明責任、教員の働き方改革など公教育の充実に向けた取組、旧文書通信交通滞在費に係る改革の必要性、少子化対策の具体策を示す必要性、大阪・関西万博に係る経費の全体像、実質無利子・無担保融資に係る利子免除期間延長の必要性等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○令和5年10月31日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について岸田内閣総理大臣、加藤内閣府特命担当大臣、武見厚生労働大臣、鈴木財務大臣、西村経済産業大臣、河野国務大臣、小泉法務大臣、上川外務大臣、自見国務大臣、盛山文部科学大臣、斉藤国土交通大臣、松村国務大臣、伊藤環境大臣、宮下農林水産大臣、木原防衛大臣、鈴木総務大臣、新藤国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

蓮舫君(立憲)、徳永エリ君(立憲)、杉尾秀哉君(立憲)、横沢高德君(立憲)、福岡資麿君(自民)、中西祐介君(自民)

○令和5年11月1日(水) (第2回)

- 予算の執行状況に関する件について岸田内閣総理大臣、西村経済産業大臣、新藤国務大臣、土屋復興大臣、自見国務大臣、斉藤国土交通大臣、鈴木財務大臣、武見厚生労働大臣、鈴木総務大臣、上川外務大臣、加藤内閣府特命担当大臣、盛山文部科学大臣、宮下農林水産大臣、高市内閣府特命担当大臣、小泉法務大臣、木原防衛大臣、伊藤環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

太田房江君（自民）、谷合正明君（公明）、伊藤孝江君（公明）、音喜多駿君（維新）、東徹君（維新）、舟山康江君（民主）、山添拓君（共産）、山本太郎君（れ新）

○令和5年11月20日（月）（第3回）

- 令和五年度一般会計補正予算（第1号）（予）
令和五年度特別会計補正予算（特第1号）（予）

以上両案について鈴木財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年11月27日（月）（第4回）

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和五年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）

令和五年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、木原防衛大臣、鈴木財務大臣、西村経済産業大臣、自見国務大臣、斉藤国土交通大臣、上川外務大臣、河野国務大臣、新藤内閣府特命担当大臣、武見厚生労働大臣、小泉法務大臣、鈴木総務大臣、盛山文部科学大臣、松野内閣官房長官、宮下農林水産大臣、加藤内閣府特命担当大臣、矢倉財務副大臣、岡村会計検査院長、政府参考人、参考人日本銀行総裁植田和男君及び同銀行理事高口博英君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

辻元清美君（立憲）、小沼巧君（立憲）、牧山ひろえ君（立憲）、岸真紀子君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、浅尾慶一郎君（自民）、石田昌宏君（自民）、吉川ゆうみ君（自民）

○令和5年11月28日（火）（第5回）

— 総括質疑 —

- 令和五年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
令和五年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、新藤国務大臣、西村経済産業大臣、鈴木財務大臣、宮下農林水産大臣、自見内閣府特命担当大臣、武見厚生労働大臣、斉藤国土交通大臣、上川外務大臣、松村内閣府特命担当大臣、河野国務大臣、盛山文部科学大臣、伊藤環境大臣、鈴木総務大臣、加藤内閣府特命担当大臣、古谷公正取引委員会委員長、川本人事院総裁、政府参考人及び国立国会図書館当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

上田勇君（公明）、山本香苗君（公明）、清水貴之君（維新）、梅村聡君（維新）、浜口誠君（民主）、田村智子君（共産）、山本太郎君（れ新）

○令和5年11月29日（水）（第6回）

— 締めくくり質疑 —

- 令和五年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
令和五年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、武見厚生労働大臣、鈴木財務大臣、松野内閣官房長官、自見国務大臣、西村経済産業大臣、盛山文部科学大臣、斉藤国土交通大臣、上川外務大臣、宮下農林水産大臣、加藤内閣府特命担当大臣、伊藤環境大臣、木原防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

阿達雅志君（自民）、杉尾秀哉君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、秋野公造君（公明）、松野明美君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、山添拓君（共産）、天畠大輔君（れ新）

（令和五年度補正予算）

賛成会派 自民、公明、維新、民主

反対会派 立憲、共産、れ新

○令和5年12月8日（金）（第7回）

— 集中審議（内外の諸課題） —

- 予算の執行状況に関する調査のうち、内外の諸課題に関する件について岸田内閣総理大臣、宮下農林水産大臣、松野内閣官房長官、西村経済産業大臣、自見国務大臣、鈴木財務大臣、斉藤国土交通大臣、武見厚生労働大臣、新藤国務大臣、河野国務大臣、岩田経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山下雄平君（自民）、蓮舫君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、河野義博君（公明）、片山大介君（維新）、芳賀道也君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）

○令和5年12月13日（水）（第8回）

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 開会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。